

長期増分費用モデル研究会開催要綱

1 目的

現行の長期増分費用モデル（以下「第8次モデル」という。）は、令和元（平成31）年度から令和3年度までの3年間、固定電話の接続料算定方式等として適用されているところ、令和4年度以降の接続料算定等に係る長期増分費用モデル（以下「第9次モデル」という。）の検討等を行うため、長期増分費用モデル研究会（以下「研究会」という。）を開催する。

2 検討事項

研究会は、以下の事項について検討を行う。

- (1) 第9次モデルに向けた見直し
- (2) 第8次モデルを用いたユニバーサルサービスコスト算定方法
- (3) 第9次モデルを用いたユニバーサルサービスコスト算定の在り方
- (4) 接続料算定等に用いる長期増分費用モデルの入力値の見直し

3 構成及び運営

- (1) 研究会は、総務省総合通信基盤局長の研究会とする。
- (2) 研究会の構成員は、別紙のとおりとする。
- (3) 研究会には、座長及び座長代理を置く。
- (4) 座長は、研究会の構成員の互選によりこれを定める。
- (5) 座長は、座長代理を指名する。
- (6) 研究会は、座長が召集し、主宰する。
- (7) 研究会は、必要に応じてワーキンググループを設置することができる。
- (8) 研究会は、座長が認めたときは、持ち回りにより会議を開催することができる。
- (9) その他、研究会の運営に必要な事項は、座長が定めるところによる。

4 庶務

研究会の庶務は、総務省総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課がこれを行うものとする。

長期増分費用モデル研究会
構成員名簿

(敬称略・五十音順)

座長	齊藤 忠夫	東京大学 名誉教授
座長代理	酒井 善則	東京工業大学 名誉教授
	相田 仁	東京大学大学院 工学系研究科 教授
	北口 善明	東京工業大学 学術国際情報センター 准教授
	佐藤 治正	甲南大学 名誉教授
	関口 博正	神奈川大学 経営学部 教授
	高橋 賢	横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授
	辻 正次	神戸国際大学 学長
	森川 博之	東京大学大学院 工学系研究科 教授